

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車総論	教育内容	自動車総論(前期)
授業の方法	講義) ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	72
担当教員	飯田	実務経験の有無	(有) ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①自動車の各部の名称を覚え、スムーズに学習できるようにする。 ②自動車の構造機能について、お客様に説明できる能力を付ける。 ③自動車に必要なメンテナンスを知り、お客様に説明できる。		
授業概要	自動車の原動機、動力伝達装置、走行装置、制動装置、懸架装置及びボティに至るまでの 名称、構造及び機能を覚え、それぞれの装置の働きをお客様に説明できるようにする。 また、自動車を所有する上でのメンテナンスについて覚える。		
評価方法	・期末試験 ・単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	自動車の定義	P7	
2	自動車の歴史	P7～10	
3	自動車の分類	P10～12	
4	自動車の構成	P13	
5	エンジンの原理	P13～14	
6	ガソリンエンジン(エンジン本体)	P15～16	
7	ガソリンエンジン(潤滑装置)	P17	
8	ガソリンエンジン(冷却装置)	P17	
9	ガソリンエンジン(燃料装置)	P18～19	
10	ガソリンエンジン(吸排気装置)	P20	
11	ガソリンエンジン(排出ガス浄化装置)	P21	
12	ガソリンエンジン(電気装置)	P21～23	
13	ガソリンエンジン(電気装置)	P21～23	
14	ディーゼルエンジン(燃料装置)	P24～25	
15	ディーゼルエンジン(予熱装置)	P26	
16	ディーゼルエンジン(排出ガス浄化装置)	P26	
17	単元試験実施(第1章)		
18	単元まとめ		
19	クラッチ	P28	

授業時間	授業内容	教科書ページ
20	トランスミッション	P29～30
21	プロペラシャフト及びユニバーサルジョイント	P31
22	ファイナルギヤ及びディファレンシャル	P32
23	単元試験実施	
24	単元まとめ	
25	アクスル及びサスペンション(車軸懸架式)	P33
26	アクスル及びサスペンション(独立懸架式)	P34
27	ステアリング装置	P35
28	ホイール及びタイヤ	P36
29	ホイールアライメント	P37
30	ブレーキ装置①	P38
31	ブレーキ装置②	P39
32	フレーム及びボティ	P40
33	灯火装置	P41
34	計器及び警報装置	P42
35	その他の装置	P43～45
36	単元試験実施(第2章)	
37	単元まとめ	
38	ねじ(ボルトとナット)	P55～56
39	ねじ(小ねじ及びタッピングビス)・ワッシャ	P57
40	スプリング(リーフ・コイル)	P58
41	スプリング(ダイヤフラム・トーションバー)	P58
42	スプリング(エア・ラバー)	P58
43	ベアリング(プレーン・ローリング)	P59
44	ギヤ	P60～61
45	ベルト及びプーリー	P62
46	チェーン及びsprocket	P63
47	単元試験実施(第4章)	
48	単元まとめ	
49	燃料(ガソリン・軽油・LPG・CNG)	P65
50	潤滑剤(エンジンオイル)	P66
51	潤滑剤(ギヤオイル・グリース)	P66
52	単元試験実施(第5章及び第1章～第2章)	
53	単元まとめ	
54	熱(熱と物質)	P67
55	熱(熱と温度)	P67～68
56	熱(熱の移動)	P69
57	熱(熱膨張)	P70
58	熱(燃焼)	P71
59	力(摩擦力)	P71
60	力(トルク)	P72

授業時間	授業内容	教科書ページ
61	力(力とモーメント)	P72～74
62	力(速度と加速度)	P75
63	仕事とエネルギー(仕事)	P76
64	仕事とエネルギー(エネルギー)	P77
65	圧力と応力(圧力)	P77～78
66	圧力と応力(応力)	P79
67	電気と磁気(電気)①	P79～82
68	電気と磁気(電気)②	P82～87
69	電気と磁気(磁気)①	P88～P90
70	電気と磁気(磁気)①	P91～92
71	単元試験実施(第6章)	
72	単元まとめ	
使用教科書等	基礎自動車工学	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 ・ 後期
教育科目	自動車総論	教育内容	自動車総論(前期)
授業の方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	72
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ 無し
授業目標	①自動車の各部の名称を覚え、スムーズに学習できるようにする。		
	②自動車の構造機能について、お客様に説明できる能力を付ける。		
	③自動車に必要なメンテナンスを知り、お客様に説明できる。		
授業概要	自動車の原動機、動力伝達装置、走行装置、制動装置、懸架装置及びボティに至るまでの名称、構造及び機能を覚え、それぞれの装置の働きをお客様に説明できるようにする。		
	また、自動車を所有する上でのメンテナンスについて覚える。		
評価方法	・期末試験 ・単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	自動車の諸元表読み取り(新型車カタログより)		
2	寸法	P93	
3	排気量	P94	
4	圧縮比	P95	
5	空車質量(重量)と自動車総質量(重量)	P95	
6	自動車に働く抵抗	P96	
7	変速比	P96～97	
8	駆動力	P97	
9	登坂能力	P98	
10	燃料消費率①	P98～99	
11	燃料消費率②	自動車カタログより	
12	単元試験(第7章)		
13	単元まとめ		
14	自動車のメンテナンス(点検)	法令教材抜粋	
15	自動車のメンテナンス(日常点検)	法令教材抜粋別表1・2	
16	自動車のメンテナンス(12か月点検)①	法令教材抜粋別表6	
17	自動車のメンテナンス(12か月点検)②	法令教材抜粋別表6	
18	自動車のメンテナンス(12か月点検)③	法令教材抜粋別表6	

授業時間	授業内容	教科書ページ
19	自動車のメンテナンス(24か月点検)①	法令教材抜粋別表6
20	自動車のメンテナンス(24か月点検)②	法令教材抜粋別表6
21	自動車のメンテナンス(24か月点検)③	法令教材抜粋別表6
22	自動車のメンテナンス(24か月点検)④	法令教材抜粋別表6
23	点検費用の算出①	標準作業点数表
24	点検費用の算出②	標準作業点数表
25	点検費用の算出③	標準作業点数表
26	点検費用の算出④	標準作業点数表
27	点検費用の算出⑤	標準作業点数表
28	点検費用の算出⑥	標準作業点数表
29	単元試験(自動車のメンテナンス)	
30	単元まとめ	
31	車検(継続検査)の仕組み	法令教材抜粋
32	車検に必要な書類の記入方法①	記入用書類
33	車検に必要な書類の記入方法②	記入用書類
34	自動車にかかる税金(自動車税・自動車重量税など)	
35	自賠責保険について(補償・費用等)	
36	車検費用の見積もり作成①	標準作業点数表
37	車検費用の見積もり作成②	標準作業点数表
38	車検費用の見積もり作成③	標準作業点数表
39	車検費用の見積もり作成④	標準作業点数表
40	車検費用の見積もり作成⑤	標準作業点数表
41	車検費用の見積もり作成⑥	標準作業点数表
42	単元試験(車検)	
43	単元まとめ	
44	新型車の商談～見積もりまで	
45	自動車カタログ内容の勉強(車の特徴)	
46	自動車カタログ内容の勉強(新機構の説明)	
47	自動車カタログ内容の勉強(オプションパーツの説明)	
48	新型車見積もり①	
49	新型車見積もり②	
50	新型車見積もり③	
51	商談～見積もりまでロールプレイング①	
52	商談～見積もりまでロールプレイング②	
53	商談～見積もりまでロールプレイング③	
54	振り返り	
55	その2 商談～見積もりまでロールプレイング①	
56	その2 商談～見積もりまでロールプレイング②	
57	その2 商談～見積もりまでロールプレイング③	
58	振り返り	
59	その3 商談～見積もりまでロールプレイング①	

授業時間	授業内容	教科書ページ
60	その3 商談～見積もりまでロールプレイング②	
61	その3 商談～見積もりまでロールプレイング③	
62	振り返り	
63	納車時説明	
64	各装置の使い方を説明ロールプレイング①	
65	各装置の使い方を説明ロールプレイング②	
66	各装置の使い方を説明ロールプレイング③	
67	商談～納車説明まで練習①	
68	商談～納車説明まで練習②	
69	お客様対応(商談～納車説明)の試験①	
70	お客様対応(商談～納車説明)の試験②	
71	お客様対応(商談～納車説明)の試験③	
72	まとめ	
使用教科書等	基礎自動車工学	標準作業点数表
	自動車カタログ	法令教材

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車に関する法規	教育内容	道路運送車両法
授業の方法	講義) ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	24
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ (無し)
授業目標	①自動車を販売する者として必要な法令を学び業務に活用することができる。 ②お客様に法令を遵守した上で、接客対応ができる。 ③入庫した車両が保安基準に適合しているかを見極めることができる。		
授業概要	・自動車に携わる者として、最低限の道路運送車両法及び保安基準を知り、法令に遵守し商談や接客対応ができるように知識を身につける。 ・保安基準などの具体的な数値を覚えることで、実際の車に照らし合わせ理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	第1章総則 この法律の目的	P21	
2	定義・自動車の種別・練習問題	P22	
3	第2章自動車の登録等 登録の一般的効力	P23～24	
4	新規登録の申請	P25	
5	自動車登録番号標の封印等	P26	
6	永久・一時抹消登録	P27～28	
7	自動車登録番号標の表示の義務	P29	
8	車台番号等の打刻・打刻の塗抹等の禁止	P30～31	
9	職権による打刻等・臨時運行許可・練習問題	P31～32	
10	単元試験(第1・2章)		
11	第3章道路運送車両の保安基準 自動車の構造	P33	
12	自動車の装置	P34	
13	乗車定員又は最大積載量	P35	
14	第4章道路運送車両の点検及び整備	P35	
15	日常点検整備・定期点検整備	P36	
16	点検整備記録簿	P37～38	
17	整備管理者・整備命令等	P39～40	
18	自動車整備士の技能検定・練習問題	P41	
19	第5章道路運送車両の検査等 自動車の検査及び自動車検査証	P42～43	
20	検査の実施方法・新規検査	P44	

授業時間	授業内容	教科書ページ
21	自動車検査証の有効期間・継続検査	P45～47
22	自動車検査証の備え付け	P48
23	自動車検査証の返納等	P50
24	単元試験(第3・4章)	
使用教科書等	法令教材	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 <del>後期</del>
教育科目	自動車に関する法規	教育内容	道路運送車両法
授業の方法	<del>講義</del> ・演習・実験・実習	授業時間	24
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り・ <del>無し</del>
授業目標	①自動車を販売する者として必要な法令を学び業務に活用することができる。 ②お客様に法令を遵守した上で、接客対応ができる。 ③入庫した車両が保安基準に適合しているかを見極めることができる。		
授業概要	・自動車に携わる者として、最低限の道路運送車両法及び保安基準を知り、法令に遵守し 商談や接客対応ができるように知識を身につける。 ・保安基準などの具体的な数値を覚えることで、実際の車に照らし合わせ理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	第6章 自動車の整備事業	P53	
2	自動車分解整備事業の種類	P53	
3	認証・申請	P54	
4	認証基準・標識	P55	
5	自動車分解整備事業の義務	P56	
6	分解整備記録簿・設備の維持・遵守事項	P56	
7	改善命令	P57	
8	事業の停止・優良認定	P58	
9	指定自動車整備事業の指定	P59	
10	自動車自動車検査員	P59～60	
11	指定整備記録簿	P61	
12	IV道路運送車両の保安基準	P87	
13	第1章総則	P88	
14	第2章自動車の保安基準	P89	
15	長さ、幅及び高さ	P89	
16	最低地上高	P90	
17	座席ベルト	P126	
18	年少者用補助乗車装置等	P129	
19	窓ガラス	P132	
20	灯火装置①	P143～167	

授業時間	授業内容	教科書ページ
21	灯火装置②	
22	灯火装置③	
23	単元試験(総括)	
24	まとめ・復習	
使用教科書等	法令教材	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 <b>前期</b> ・後期
教育科目	ビジネスマナー	教育内容	秘書・ビジネスマナー
授業の方法	<b>講義</b> ・ <b>演習</b> ・ 実験 ・ 実習	授業時間	45
担当教員	村山	実務経験の有無	<b>有り</b> ・ 無し
	実務経験の経歴:銀行の重役秘書として勤務経験あり		
授業目標	①社会人として、相手に対して正しい挨拶ができる ②社会人として、正しい言葉遣いを身につけ、どんな相手にでも適切な言葉遣いができる。 ③社会人として、正しい礼儀やマナーを身につけ、どんな場面でも慌てることなく相手への気配りができる。		
授業概要	社会人としての挨拶、身だしなみ、言葉遣いを基本に学び、仕事の場面で考えられる接客シーンでの立ち振る舞いを身につける。 また、社会人として業務の進め方を学び身につける。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	4S(整理、整頓、清潔、清掃)		
2	挨拶(正しい姿勢、正しい表情、正しい礼)		
3	身だしなみ(身だしなみを整える必要性)		
4	身だしなみ(第一印象の重要性)		
5	表情(表情から与える、読み取る感情を学ぶ)		
6	表情(表情の作り方、自分が思う表情と相手を感じる表情の違い)		
7	言葉遣い(尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い分け)		
8	言葉遣い(話し方、傾聴の姿勢を学ぶ)		
9	接客ロールプレイング①		
10	接客ロールプレイング②		
11	接客ロールプレイング③		
12	社会常識(基本用語 経済・財政・金融)	P106～107	
13	社会常識(基本用語 カタカナ言葉 略語)	P108～109	
14	人間関係と話し方①	P114～121	
15	人間関係と話し方②		
16	敬語と言葉遣いの基本①	P122～131	
17	敬語と言葉遣いの基本②		
18	話し方・聞き方の応用①	P132～143	
19	話し方・聞き方の応用②		

授業時間	授業内容	教科書ページ
20	電話のマナーと応対の基本	P144～150
21	基本の接遇①	P151～157
22	基本の接遇②	
23	接遇の要領とマナー①	P158～169
24	接遇の要領とマナー②	
25	慶事と弔事への対応	P170～177
26	贈答の習わしと食事のマナー	P178～184
27	単元試験(第4章)	
28	単元まとめ	
29	会議と秘書の業務	P186～194
30	社内文書	P195～201
31	社外文書	P202～208
32	メモの取り方・グラフの作り方	P209～214
33	受信・発信業務と関連知識	P215～220
34	郵便の知識	P221～227
35	ファイリングと各種資料管理①	P228～243
36	ファイリングと各種資料管理②	
37	日程管理とオフィス管理①	P244～255
38	日程管理とオフィス管理②	
39	単元試験	
40	単元まとめ	
41	模擬試験①	
42	模擬試験②	
43	模擬試験③	
44	模擬試験④	
45	模擬試験⑤	
使用教科書等	秘書検定3級集中講義	ビジネス検定3級テキスト
	秘書検定2級集中講義	ビジネス検定3級問題集

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 (後期)
教育科目	ビジネスマナー	教育内容	秘書・ビジネスマナー
授業の方法	講義・演習・実験・実習	授業時間	45
担当教員	村山	実務経験の有無	(有) ・ 無し
	実務経験の経歴:銀行の重役秘書として勤務経験あり		
授業目標	①社会人として、相手に対して正しい挨拶ができる ②社会人として、正しい言葉遣いを身につけ、どんな相手にでも適切な言葉遣いができる。 ③社会人として、正しい礼儀やマナーを身につけ、どんな場面でも慌てることなく相手への気配りができる。		
授業概要	社会人としての挨拶、身だしなみ、言葉遣いを基本に学び、仕事の場面で考えられる接客シーンでの立ち振る舞いを身につける。 また、社会人として業務の進め方を学び身につける。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	第1編 第1章 キャリアと仕事へのアプローチ	P16～21	
2	第2章 会社活動の基本①	P22～33	
3	会社活動の基本②		
4	会社活動の基本③		
5	第3章 話し方と聞き方のポイント①	P34～41	
6	話し方と聞き方のポイント②		
7	第4章 接客と営業の進め方①	P42～49	
8	接客と営業の進め方②		
9	第5章 不満と信頼に変えるクレーム対応	P50～55	
10	第6章 会議への出席とプレゼンテーション	P56～61	
11	第7章 チームワークと人のネットワーク	P62～69	
12	単元試験(第1編)		
13	単元まとめ		
14	第2編 第1章 仕事の進め方①	P72～85	
15	仕事の進め方②		
16	仕事の進め方③		
17	第2章 ビジネス文書の基本(議事録)	P86～91	
18	・議事録作成		
19	ビジネス文書の基本(報告書)		

授業時間	授業内容	教科書ページ
20	・報告書作成	
21	ビジネス文書の基本(企画書)	
22	・企画書作成	
23	第3章 統計・データの読み方、まとめ方①	P92～99
24	統計・データの読み方、まとめ方②	
25	練習問題実施(第1～3章)	
26	練習問題解説(第1～3章)	
27	第4章 情報収集とメディアの活用	P100～105
28	第5章 会社数値の読み方	P106～109
29	第6章 ビジネスと法律・税金知識①	P110～123
30	ビジネスと法律・税金知識②	
31	ビジネスと法律・税金知識③	
32	ビジネスと法律・税金知識④	
33	第7章 産業と経済の基礎知識①	P124～129
34	産業と経済の基礎知識②	
35	産業と経済の基礎知識③	
36	練習問題実施(第4～7章)	
37	練習問題解説(第4～7章)	
38	問題の解決力 ケーススタディ①	
39	問題の解決力 ケーススタディ②	
40	問題の解決力 ケーススタディ③	
41	SWOT分析①	
42	SWOT分析②	
43	経理関係の基礎知識①	
44	経理関係の基礎知識②	
45	経理関係の基礎知識③	
使用教科書等	ビジネス検定2級テキスト	
	ビジネス検定2級問題集	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 <b>前期</b> ・後期
教育科目	ファイナンシャルプランニング	教育内容	ファイナンシャルプランニング
授業の方法	<b>講義</b> ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ <b>無し</b>
授業目標	①自動車を購入及び保有するために必要な資金を算出することができる。 ②お客様とのコミュニケーションの中でライフデザインを描くことができる。 ③お金の総合的な知識を身につけることで、お客様に最適なプランを提案できる。		
授業概要	年金、保険、税金、不動産、相続、金融に関する知識を身につけることで、お客様のライフプランある自動車の購入や住宅の購入、子供の教育費、老後の生活資金に至るまでのライフデザインを設計することで、適切なライフプランを提供する。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	ファイナンシャルプランニングと倫理	P2～6	
2	ライフプランニングの手法	P7～18	
3	↓		
4	↓		
5	ライフプランニングの手法策定上の資金計画	P19～29	
6	↓		
7	↓		
8	社会保険	P30～49	
9	↓		
10	↓		
11	公的年金の全体像	P50～58	
12	↓		
13	公的年金の給付	P59～79	
14	↓		
15	↓		
16	↓		
17	企業年金等	P80～84	
18	年金と税金	P85～86	
19	単元試験		
20	単元まとめ		

21	保険の基本	P88～96
22	↓	
23	生命保険	P97～129
24	↓	
25	↓	
26	↓	
27	損害保険	P130～144
28	↓	
29	第三分野の保険	P145～148
30	単元試験	
31	単元まとめ	
32	金融・経済の基本	P150～161
33	↓	
34	セーフティーネットと関連法規	P162～167
35	貯蓄型金融商品	P168～177
36	債券	P178～187
37	株式	P188～202
38	↓	
39	↓	
40	投資信託	P203～213
41	↓	
42	外貨建て金融商品	P214～217
43	ポートフォリオとデリバティブ取引	P218～222
44	単元試験	
45	単元まとめ	
使用教科書等	FP3級の教科書	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 (後期)
教育科目	ファイナンシャルプランニング	教育内容	ファイナンシャルプランニング
授業の方法	講義・演習・実験・実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り・無し
授業目標	①自動車を購入及び保有するために必要な資金を算出することができる。 ②お客様とのコミュニケーションの中でライフデザインを描くことができる。 ③お金の総合的な知識を身につけることで、お客様に最適なプランを提案できる。		
授業概要	年金、保険、税金、不動産、相続、金融に関する知識を身につけることで、お客様のライフプランある自動車の購入や住宅の購入、子供の教育費、老後の生活資金に至るまでのライフデザインを設計することで、適切なライフプランを提供する。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	所得税の基本	P224～230	
2	各所得の計算	P231～251	
3	↓		
4	↓		
5	課税標準の計算	P252～257	
6	所得控除	P258～269	
7	↓		
8	税額の計算と税額控除	P270～277	
9	↓		
10	所得税の申告と納付	P278～282	
11	個人住民税、個人事業税	P283～288	
12	単元試験		
13	単元まとめ		
14	不動産の基本	P290～296	
15	↓		
16	不動産の取引	P297～303	
17	不動産に関する法令	P304～321	
18	↓		
19	↓		
20	↓		

21	不動産の税金	P322～339
22	↓	
23	↓	
24	不動産の有効活用	340～344
25	単元試験	
26	単元まとめ	
27	相続の基本	P345～362
28	↓	
29	↓	
30	相続税	P363～382
31	↓	
32	↓	
33	贈与税	P383～397
34	↓	
35	↓	
36	財産評価	P398～405
37	単元試験	
38	単元まとめ	
39	総合練習問題①	
40	総合練習問題②	
41	総合練習問題③	
42	総合練習問題④	
43	総合練習問題⑤	
44	総合練習問題⑥	
45	総合練習問題⑦	
使用教科書等	FP3級の教科書	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車保険	教育内容	損害保険募集人
授業の方法	講義) ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ (無し)
授業目標	①損害保険募集人資格を取得する。 ②保険の知識を深めることで、お客様の保険プランが提案することができる。 ③お客様に万が一事故などが発生した時にも、的確な処理をすることができる。		
授業概要	損害保険募集人資格の資格を取得するための学習を通じて、保険の知識を広めお客様に安心したカーライフを送っていただけるようにする。また、お客様の万が一の事故の時にも適切なアドバイスや処置ができるように理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	第1編 損害保険の基礎知識	P5～12	
2	第1章 リスクと保険		
3	第2章 損害保険の社会的役割	P13～21	
4	↓		
5	第3章 保険の仕組み	P22～33	
6	↓		
7	第4章 損害保険商品	P34～44	
8	↓		
9	単元試験		
10	単元まとめ		
11	第2編 保険募集の基本ルール	P45～49	
12	第1章 コンプライアンス		
13	第2章 保険業法	P50～81	
14	↓		
15	↓		
16	↓		
17	↓		
18	↓		
19	第3章 関連法令・ルール	P82～94	
20	↓		

21	↓	
22	単元試験	
23	単元まとめ	
24	練習問題①	
25	練習問題①解説	
26	練習問題②	
27	練習問題②解説	
使用教科書等	損害保険募集人一般試験教育テキスト(基礎単位)	
	損害保険募集人一般試験教育テキスト(自動車保険単位)	

学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 ・ 後期
教育科目	自動車保険	教育内容	損害保険募集人
授業の方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ 無し
授業目標	①損害保険募集人資格を取得する。 ②保険の知識を深めることで、お客様の保険プランが提案することができる。 ③お客様に万が一事故などが発生した時にも、的確な処理をすることができる。		
授業概要	損害保険募集人資格の資格を取得するための学習を通じて、保険の知識を広めお客様に安心したカーライフを送っていただけるようにする。また、お客様の万が一の事故の時にも適切なアドバイスや処置ができるように理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	第3編 保険募集の基本と心構え	P95～109	
2	第1章 保険契約の引受け		
3	↓		
4	第2章 保険料・保険契約の管理	P110～117	
5	第3章 事故・苦情への対応	P118～124	
6	第4章 保険募集人の心構え	P125～136	
7	単元試験		
8	第4編 損害保険の周辺知識	P137～141	
9	第1章 損害賠償		
10	第2章 社会保険	P142～145	
11	第3章 災害時の公的支援制度	P146～148	
12	第4章 税務・相続	P149～154	
13	第5章 隣接業界	P155～158	
14	単元試験		
15	自動車保険単位 第1編 商品の仕組み	P5～59	
16	↓		
17	↓		
18	第2編 契約条件の確認	P59～87	
19	↓		
20	↓		

21	第3編 契約引受け・契約管理	P89～126
22	↓	
23	↓	
24	第4編 周辺知識	P127～142
25	↓	
26	単元試験	
27	まとめ	
使用教科書等	損害保険募集人一般試験教育テキスト(基礎単位)	
	損害保険募集人一般試験教育テキスト(自動車保険単位)	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車査定	教育内容	中古自動車査定
授業の方法	(講義) ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	36
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ (無し)
授業目標	①中古自動車査定士の資格を取得する。 ②査定のための自動車構造知識を身につけることができる。 ③中古自動車査定士の任務の重要性を認識し、信頼される査定士となることができる。		
授業概要	中古自動車査定士の資格を取得する学習を通じて、自動車査定に必要な自動車構造を理解し、適切で信頼のある査定ができるように繰り返し練習する。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	自動車の諸元(寸法)	P4～5	
2	自動車の諸元(重量)	P6	
3	自動車の諸元(性能)	P6	
4	自動車の諸元(ボディ構造)	P7～8	
5	自動車の諸元(駆動方式)	P9	
6	自動車の諸元(トラックの荷台形状)	P10	
7	自動車の構成(エンジンの分類)	P11～17	
8	↓		
9	自動車の構成(エンジンの構成)	P18～28	
10	↓		
11	動力伝達装置	P29～37	
12	↓		
13	ステアリング装置	P38～39	
14	サスペンション	P40～41	
15	ブレーキ装置	P42～45	
16	ホイールおよびタイヤ	P46～50	
17	安全装置	P51～56	
18	燃料および潤滑油	P57～59	
19	単元試験		
20	第1章 中古自動車査定制度と査定士	P7～13	

21	第2章 中古自動車査定基準及び細則	P14～23
22	↓	
23	第3章 中古自動車の査定に係わる法規	P24～36
24	↓	
25	第4章 車両の点検手順とカーチェックシートの記入要領	P37～59
26	↓	
27	↓	
28	↓	
29	第5章 中古自動車査定制度運営規程及び細則	P60～79
30	↓	
31	↓	
32	↓	
33	単元試験	
34	単元まとめ	
35	単元まとめ	
36	単元まとめ	
使用教科書等	査定のための自動車構造知識	
	査定の実務	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 (後期)
教育科目	自動車査定	教育内容	中古自動車査定
授業の方法	講義・演習・実験・実習	授業時間	36
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り・無し
授業目標	①中古自動車査定士の資格を取得する。 ②査定のための自動車構造知識を身につけることができる。 ③中古自動車査定士の任務の重要性を認識し、信頼される査定士となることができる。		
授業概要	中古自動車査定士の資格を取得する学習を通じて、自動車査定に必要な自動車構造を理解し、適切で信頼のある査定ができるように繰り返し練習する。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	中古自動車査定基準及び細則の見方	P18～27	
2	加減点基準の組立て		
3	車両本体の評価	P28～42	
4	↓		
5	↓		
6	装備品の評価	P43～46	
7	商品価値の評価	P47～65	
8	↓		
9	特殊車の評価	P66～67	
10	車両本体の評価(輸入車)	P68～77	
11	装備品の評価(輸入車)	P78～79	
12	商品価値の評価(輸入車)	P80～97	
13	↓		
14	机上査定①(バンパーの凹み・傷)		
15	↓		
16	①評価確認		
17	机上査定②(ドアの凹み・傷)		
18	↓		
19	②評価確認		
20	机上査定③(車両フロント衝突・フロントガラス割れ)		

21	↓	
22	③評価確認	
23	机上査定④(車両リヤ衝突)	
24	↓	
25	④評価確認	
26	単元試験	
27	単元まとめ	
28	模擬試験①	
29	↓	
30	模擬試験②	
31	↓	
32	模擬試験③	
33	↓	
34	模擬試験④	
35	↓	
36	まとめ	
使用教科書等	査定のための自動車構造知識	中古自動車査定基準及び細則
	査定の実務	

## 実習シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 <input checked="" type="radio"/> 前期 <input checked="" type="radio"/> 後期
教育科目	自動車整備作業	教育内容	自動車整備作業
授業の方法	講義・演習・実験・ <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間	90
担当教員①	菊地	実務経験の有無	有り・ <input checked="" type="radio"/> 無し
	実務経験の経歴:		
担当教員②		実務経験の有無	有り・無し
	実務経験の経歴:		
授業目標	①日常点検方法を覚え、点検作業ができる。		
	②12ヶ月点検方法を覚え、点検作業できる。		
	③オイル交換などの日常的に発生する作業ができる。		
授業概要	自動車の点検及び整備を体験することで、その点検及び整備の重要性や難易度を知ることができ、お客様へ適切なアドバイスや商品の提供ができる。		
	また、自動車の点検手順整備を通じて、お客様の財産である車の取り扱いを知る。		
評価方法	単元試験 レポート 期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	工具の使用方法(名称を覚える)		
2	工具の使用方法(適切な使用方法を覚える)		
3	車両の取り扱い(シート・カバー類の使用)		
4	オートリフトの使用方法(リフトアップ・ダウン)		
5	日常点検の項目を覚える		
6	・各項目の点検方法①		
7	↓		
8	日常点検の反復練習①		
9	↓		
10	↓		
11	日常点検の反復練習①(車両入替)		
12	↓		
13	↓		
14	単元試験		
15	単元まとめ	レポート提出①	
16	12ヶ月点検の項目を覚える		

授業時間	授業内容	備考
17	・各項目の点検方法①	
18	↓	
19	↓	
20	・各項目の点検方法④	
21	12ヶ月点検の反復練習①	
22	↓	
23	↓	
24	↓	
25	↓	
26	↓	
27	12ヶ月点検の反復練習①(車両入替)	
28	↓	
29	↓	
30	↓	
31	↓	
32	↓	
33	単元試験	
34	↓	
35	↓	
36	単元まとめ	レポート提出②
37	オイル交換作業(必要性・オイルの種類を知る)	
38	オイル交換作業(作業方法)	
39	オイル交換(注意事項・お客様へアドバイス)	
40	オイルエレメント交換作業(必要性・作業方法)	
41	オイルエレメント交換作業(注意事項・お客様へアドバイス)	
42	タイヤ交換作業(必要性・サイズ・種類を知る)	
43	タイヤ交換作業(チェンジャーの使用方法)	
44	タイヤ交換作業(作業方法①)	
45	タイヤ交換作業(作業方法②)	
46	タイヤ交換作業(注意事項・お客様へアドバイス)	
47	LLC交換作業(必要性・種類を知る)	
48	LLC交換作業(作業方法)	
49	LLC交換作業(エア抜き方法)	
50	LLC交換作業(注意事項・お客様へアドバイス)	
51	オーディオ交換作業(作業方法)	
52	↓	
53	オーディオ交換作業(室内作業の注意事項)	
54	ガラスコーティング(必要性・種類を知る)	
55	ガラスコーティング(作業方法)	
56	↓	
57	ガラスコーティング(注意事項・お客様へアドバイス)	

授業時間	授業内容	備考
58	ボディコーティング(必要性・種類を知る)	
59	ボディコーティング(作業方法)	
60	↓	
61	↓	
62	↓	
63	↓	
64	ボディコーティング(注意事項・お客様へアドバイス)	レポート提出③
65	日常点検個人練習(交換作業付き)(車両入替含む)	
66	↓	
67	↓	
68	↓	
69	↓	
70	12ヶ月点検(交換作業付き)(車両入替含む)	
71	↓	
72	↓	
73	↓	
74	↓	
75	↓	
76	↓	
77	↓	
78	↓	
79	点検の見積もり(見積もり方法)	
80	↓	
81	標準作業点数表の見方	
82	↓	
83	見積もり練習①	
84	見積もり練習②	
85	見積もり練習③	
86	見積もり練習④	
87	見積もり練習④	
88	応酬話法を含めた模擬練習	
89	単元試験	
90	まとめ	レポート提出④
使用教科書 及び教材	自動車定期点検整備の手引	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車販売	教育内容	販売士
授業の方法	講義) ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ (無し)
授業目標	①販売士3級資格を取得する。 ②販売の知識を深めることで、お客様への最適な見積もりを提案することができる。 ③販売員の法令知識をためることで、クレーム・返品時の対応がわかる。		
授業概要	販売士3級資格の資格を取得するための学習を通じて、販売の知識を広めお客様に安心して自動車を購入していただけるようにする。また、お客様からクレームや返品の時にも適切な対応や処置ができるように理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	小売業の種類		
2	第1章 流通における小売業の基本		
3	↓		
4	第2章 組織形態別小売業の基本		
5	↓		
6	第3章 店舗形態別小売業の基本的役割		
7	↓		
8	↓		
9	↓		
10	↓		
11	↓		
12	第4章 商業集積の基本		
13	↓		
14	単元試験		
15	単元まとめ		
16	マーチャндаイジング		
17	第1章 商品の基本		
18	↓		
19	第2章 マーチャндаイジングの基本		
20	↓		

21	第3章 商品の基本	
22	↓	
23	第4章 販売計画及び仕入計画などの基本	
24	↓	
25	↓	
26	第5章 価格設定の基本	
27	↓	
28	↓	
29	第6章 在庫管理の基本	
30	↓	
31	↓	
32	第7章 販売管理の基本	
33	↓	
34	↓	
35	単元試験	
36	単元まとめ	
37	ストアオペレーション	
38	第1章 スタアオペレーションの基本	
39	↓	
40	第2章 包装技術の基本	
41	↓	
42	第3章 ディスプレイの基本	
43	第4章 作業割当の基本	
44	↓	
45	単元試験	
使用教科書等	リテールマーケティング(販売士)検定3級対応	

学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 (後期)
教育科目	自動車販売	教育内容	販売士
授業の方法	講義・演習・実験・実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り・無し
授業目標	①販売士3級資格を取得する。 ②販売の知識を深めることで、お客様への最適な見積もりを提案することができる。 ③販売員の法令知識をためることで、クレーム・返品時の対応がわかる。		
授業概要	販売士3級資格の資格を取得するための学習を通じて、販売の知識を広めお客様に安心して自動車を購入していただけるようにする。また、お客様からクレームや返品の時にも適切な対応や処置ができるように理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	マーケティング		
2	第1章 小売業のマーケティングの基本		
3	↓		
4	第2章 顧客満足経営の基本		
5	↓		
6	↓		
7	第3章 商圏の設定と出店の基本		
8	↓		
9	↓		
10	↓		
11	第4章 リージョナルプロモーションの基本		
12	↓		
13	第5章 顧客志向型売場づくりの基本		
14	↓		
15	↓		
16	単元試験		
17	単元まとめ		
18	販売・経営管理		
19	第1章 販売員の役割の基本		
20	↓		

21	第2章 販売員の法令知識	
22	↓	
23	↓	
24	第3章 計数管理の基本	
25	↓	
26	↓	
27	第4章 店舗管理の基本	
28	↓	
29	↓	
30	単元試験	
31	単元まとめ	
32	模擬試験①	
33	解説	
34	模擬試験②	
35	解説	
36	模擬試験③	
37	解説	
38	模擬試験④	
39	解説	
40	模擬試験⑤	
41	解説	
42	模擬試験⑥	
43	解説	
44	模擬試験⑦	
45	解説	
使用教科書等	リテールマーケティング(販売士)検定3級対応	

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 <b>前期</b> ・後期
教育科目	钣金見積もり	教育内容	見積もり
授業の方法	<b>講義</b> ・ <b>演習</b> ・ 実験 ・ 実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ <b>無し</b>
授業目標	①軽度な钣金・塗装の概算見積りができるようになる。 ②車体の構造を理解し、損傷した部分からどこを經由して力が伝わるかを理解する。 ③お客様に見積もり内容が説明できる。		
授業概要	自動車車体の構造を覚え、素材の特徴を理解した上で、軽度な钣金の概算見積りができるレベルまで学習を行ない、実際の車両を基に簡易的な概算見積り方法を理解する。 また、実際の見積もり内容をお客さんに伝えられるよう理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	CHAPTER1 人的能力		
2	↓		
3	CHAPTER2 見積りの基本		
4	↓		
5	↓		
6	CHAPTER3 ボデー構造と素材		
7	↓		
8	↓		
9	↓		
10	↓		
11	↓		
12	CHAPTER4 力と損傷分析		
13	↓		
14	↓		
15	CHAPTER5 修理手順		
16	↓		
17	↓		
18	CHAPTER6 部品		
19	↓		
20	↓		

21	CHAPTER7 レーバーレート	
22	↓	
23	CHAPTER8 指数の概要	
24	↓	
25	↓	
26	CHAPTER9 指数テーブル	
27	↓	
28	↓	
29	CHAPTER10 見積書作成	
30	↓	
31	↓	
32	↓	
33	↓	
34	↓	
35	↓	
36	CHAPTER12 自動車保険	
37	↓	
38	↓	
39	CHAPTER11 見積り実践／見積り実例6パターン紹介	
40	↓	
41	↓	
42	↓	
43	↓	
44	↓	
45	単元試験	
使用教科書等	THE見積り パーフェクトマニュアル	

## CHAPTER13 交渉と顧客管理

## 学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期 ・ 後期
教育科目	钣金見積もり	教育内容	見積もり
授業の方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	45
担当教員	飯田	実務経験の有無	有り ・ 無し
授業目標	①軽度な钣金・塗装の概算見積りができるようになる。 ②車体の構造を理解し、損傷した部分からどこを經由して力が伝わるかを理解する。 ③お客様に見積もり内容が説明できる。		
授業概要	自動車車体の構造を覚え、素材の特徴を理解した上で、軽度な钣金の概算見積りができるレベルまで学習を行ない、実際の車両を基に簡易的な概算見積り方法を理解する。 また、実際の見積もり内容をお客さんに伝えられるよう理解を深める。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	CHAPTER11 見積り実践／見積り実例6パターン紹介		
2	パターン②		
3	↓		
4	↓		
5	↓		
6	↓		
7	単元試験		
8	単元まとめ		
9	CHAPTER11 見積り実践／見積り実例6パターン紹介		
10	パターン③		
11	↓		
12	↓		
13	↓		
14	↓		
15	単元試験		
16	単元まとめ		
17	CHAPTER11 見積り実践／見積り実例6パターン紹介		
18	パターン④		
19	↓		
20	↓		

21	↓	
22	↓	
23	単元試験	
24	単元まとめ	
25	CHAPTER11 見積り実践／見積り実例6パターン紹介	
26	パターン⑤	
27	↓	
28	↓	
29	↓	
30	↓	
31	単元試験	
32	単元まとめ	
33	CHAPTER11 見積り実践／見積り実例6パターン紹介	
34	パターン⑥	
35	↓	
36	↓	
37	↓	
38	↓	
39	単元試験	
40	単元まとめ	
41	総合問題	
42	↓	
43	↓	
44	↓	
45	単元試験	
使用教科書等	THE見積り パーフェクトマニュアル	

## CHAPTER13 交渉と顧客管理

学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期・ <b>後期</b>
教育科目	パソコン実習	教育内容	パソコン実習
授業の方法	講義・演習・実験・ <b>実習</b>	授業時間	36
担当教員	岡田	実務経験の有無	有り・ <b>無し</b>
授業目標	①業務上必要なパソコン操作が機敏にできる。 ②顧客情報の集計など表計算表の作成ができる。 ③お客様へのお礼状や社内文章など適切な文章の作成ができる。		
授業概要	ワード・エクセルを中心に基本的な入力をマスターし、業務上使用するであろう文章や表計算を手際よく作成することができる。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	PCの基礎(ウインドウ・マウス操作・表示の換え方・OS)		
2	↓		
3	入力(ひらがな・変換・IMEパッド)		
4	↓		
5	入力(TIME10分)		
6	↓		
7	ビジネス文章・インデント設定・ページレイアウト		
8	↓		
9	入力(印刷設定)		
10	↓		
11	入力(表)練習問題実施させながら進める		
12	↓		
13	入力(箇条書き・均等割付・タブ設定)		
14	↓		
15	↓		
16	↓		
17	単元試験		
18	単元まとめ		
19	入力(図の挿入・ワードアート・図形・ページ罫線)		
20	↓		

21	↓	
22	↓	
23	入力(オブジェクト練習)	
24	↓	
25	↓	
26	↓	
27	入力(図形(絵や表)の挿入)	
28	↓	
29	↓	
30	↓	
31	試験準備、練習問題実施①	
32	確認作業	
33	試験準備、練習問題実施②	
34	確認作業	
35	単元試験	
36	単元まとめ	
使用教科書等		

学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 前期・ <del>後期</del>
教育科目	英会話	教育内容	英会話
授業の方法	<del>講義</del> ・ <del>演習</del> ・実験・実習	授業時間	36
担当教員	パブロ	実務経験の有無	有り・ <del>無し</del>
授業目標	①簡単な日常英会話ができる。 ②英語圏のお客様が来店された際に、受け答えができる。 ③英語に興味を持ち、海外での仕事なども考えられるようにする。		
授業概要	日常的な英会話を中心に授業を進め、実際に授業の中で英語を話すことで日常的な英会話を楽しむ。また、会話に必要な文法の理解を深めより現実味のある英会話ができるようにする。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	イントネーション・アルファベット・数値について		
2	英語の音声体系と自己紹介		
3	基本文法		
4	to be動詞の活用		
5	ing形・現在進行形と5W3H		
6	ボキャブラリー・発音・ニックネームについて		
7	場所の名前・動詞の活用+一般動詞		
8	形容詞の構成と発音		
9	↓		
10	形容詞と否定の活用①		
11	形容詞と否定の活用②		
12	総合復習(イントネーション)		
13	単元試験		
14	単元まとめ		
15	感情表現		
16	前置詞・家族ボキャブラリー		
17	↓		
18	主語+前置詞+現在進行形		
19	命令文・疑問文のイントネーション		
20	↓		

21	読解・道案内・前置詞単数複数	
22	確認のイントネーション	
23	苦性・単語別強調パターン	
24	文字・語彙の略	
25	↓	
26	単元試験	
27	単元まとめ	
28	短音・協調・抑揚・流暢さ確認	
29	ロールプレイングによる総合問題①	
30	解説	
31	ロールプレイングによる総合問題②	
32	解説	
33	ロールプレイングによる総合問題③	
34	解説	
35	単元試験	
36	単元まとめ	
使用教科書等		

## 実習シラバス

課 程	自動車総合科 シヨールームアテンダントコース	年 次	1年次 <input checked="" type="radio"/> 前期 <input checked="" type="radio"/> 後期
教育科目	メイク・ネイル実習	教育内容	メイク・ネイル
授業の方法	講義・演習・実験・ <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間	72
担当教員	樽見	実務経験の有無	有り・ <input checked="" type="radio"/> 無し
授業目標	実務経験の経歴： ①TPOに応じた身だしなみ(ヘア・メイク・ネイル)ができる。 ②状況に合わせたヘア・メイクができる。 ③状況に合わせたネイルができる。		
授業概要	社会人として状況に応じたヘア・メイクやネイルを学ぶことで、TPOに合わせた身だしなみを身につけることができ、お客様に違和感を与えず商談等のコミュニケーションが図れるようにする。		
評価方法	単元試験 期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	備品準備		
2	スキンケア理論		
3	↓		
4	スキンケア実技		
5	↓		
6	メイク理論		
7	↓		
8	就職メイク実技		
9	↓		
10	ヘアー(夜会巻き・お団子)		
11	↓		
12	ネイルケア理論		
13	↓		
14	ネイルケア実技(カラーリング)		
15	↓		
16	スキンケア実技		
17	↓		
18	メイク実技(サマーメイク)		
19	↓		

授業時間	授業内容	備考
20	ヘアー(夜会巻き・お団子)	
21	↓	
22	スキンケア～メイク実技	
23	↓	
24	単元試験(筆記)	
25	単元試験(実技)	
26	単元まとめ	
27	セルフネイル(1ポイント)	
28	↓	
29	↓	
30	ネイル(チップ作り)	
31	↓	
32	↓	
33	ハロウィン(メイク)	
34	ハロウィン(ネイル)	
35	ハロウィン(ヘアー)	
36	ハロウィン(撮影)	
37	秋のネイル作り	
38	↓	
39	秋のメイク作り	
40	↓	
41	ダイエットストレッチ・フェイシャルマッサージ	
42	↓	
43	冬のネイル作り	
44	↓	
45	冬のメイク作り	
46	↓	
47	クリスマス(メイク・ヘア・ネイル)	
48	↓	
49	↓	
50	単元試験(筆記)	
51	単元試験(実技)	
52	単元まとめ	
53	ブライダルのメイク作り	
54	↓	
55	ブライダルのネイル作り	
56	↓	
57	フットマッサージ	
58	↓	
59	校外学習(ブライダル)	
60	↓	

授業時間	授業内容	備考
61	↓	
62	春のメイク作り	
63	↓	
64	春のネイル作り	
65	↓	
66	春のヘアー作り	
67	↓	
68	オリジナルネイル作り	
69	↓	
70	単元試験(筆記)	
71	単元試験(実技)	
72	単元まとめ	
使用教科書 及び教材		

学科シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 (前期)・(後期)
教育科目	フラワーアレンジメント実習	教育内容	フラワーアレンジメント
授業の方法	講義・演習・実験・(実習)	授業時間	36
担当教員	深谷	実務経験の有無	有り・(無し)
授業目標	①季節に応じたフラワーアレンジメントができる。 ②フラワーアレンジメントを含めたショールームのディスプレイができる。 ③状況に応じたフラワーアレンジメントができる。		
授業概要	お客様が来店されるショールームの雰囲気作りの大切さを知り、花がもたらす環境の変化で気持ち良く商談等ができるように心がける。 季節に応じた花の変化で、話題づくりができ商談等が進めやすい状況を演出する。		
評価方法	期末試験 単元試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	ミニ花束作成		
2	↓		
3	造花アレンジ		
4	↓		
5	母の日プリザーブドフラワーアレンジ		
6	↓		
7	母の日 アレンジ生花		
8	↓		
9	ソープフラワーの花束(プレゼントラッピング)		
10	↓		
11	夏のメッセージカード作成(自然素材使用)		
12	↓		
13	ひまわりのデザイン 父の日プレゼント用		
14	↓		
15	BOXにアレンジする生花		
16	↓		
17	観葉植物の寄せ植え		
18	↓		
19	アートフラワーのアレンジメント		
20	↓		

21	生花で秋のイメージを活ける	
22	↓	
23	ハロウィン(理論)	
24	↓	
25	ハロウィン(ロビー飾り)	
26	↓	
27	ヘアードレス髪飾り	
28	↓	
29	クリスマス飾りのメンテナン	
30	↓	
31	ハッピーバースデー用 贈る花	
32	↓	
33	新春欄の胸花	
34	↓	
35	単元試験(実技)	
36	↓	
使用教科書等		

## 実習シラバス

課 程	自動車総合科 ショールームアテンダントコース	年 次	1年次 <input checked="" type="radio"/> 前期 <input checked="" type="radio"/> 後期
教育科目	就職実務	教育内容	就職実務(インターンシップ)
授業の方法	講義・演習・実験・ <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間	114
担当教員①	村山	実務経験の有無	有り・ <input checked="" type="radio"/> 無し
	実務経験の経歴:		
担当教員②		実務経験の有無	有り・無し
	実務経験の経歴:		
授業目標	<p>①インターンシップで社会人として立ち振る舞いを知り、今後の学校生活での目標を見出す。</p> <p>②インターンシップで目標とする職種の先輩の仕事姿を見学することで目標を明確にする。</p> <p>③就職に必要な素養を改めて明確にして、足りない部分を補うことができる。</p>		
授業概要	<p>社会人になるための準備として、希望する職種の先輩方の仕事姿を見学することで、学生時代に身につけるべき素養を明確にする。また、必要な知識や資格を学習し就職後、即戦力となれる人材となる。</p>		
評価方法	<p>企業評価 期末試験(実技試験)</p>		
授業時間	授業内容	備 考	
1	導入教育		
2	インターンシップに必要な挨拶、礼儀、作法を身につける。		
3	社会で必要な言葉遣いや立ち振る舞いの練習実施		
4	↓		
5	テーマを決めたロールプレイングでの練習を実施		
6	↓		
7	↓		
8	↓		
9	↓		
10	↓		
11～45	企業研修実施①(35時間のインターンシップ実施)		
46	報告書作成及び振り返り		
47	↓		
48	↓		
49	必要な素養を再度練習する		
50	挨拶・立ち振る舞い・言葉遣いなど		

授業時間	授業内容	備考
51	↓	
52	↓	
53	↓	
54	ロールプレイング形式で練習する	
55	↓	
56～90	企業研修実施②(35時間のインターンシップ実施)	
91	報告書作成及び振り返り	
92	↓	
93	↓	
94	不足している内容をプレゼン形式で全員の前で発表する。	
95	↓	
96	↓	
97	↓	
98	不足内容の強化(内容別グループ)	
99	↓	
100	↓	
101	↓	
102	↓	
103	成果発表	
104	↓	
105	↓	
106	実技試験練習	
107	↓	
108	↓	
109	↓	
110	↓	
111	実技試験	
112	↓	
113	↓	
114	↓	
使用教科書 及び教材		